

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 4月 15日

事業所名 きらめき大湾東

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	1	必要に応じ別室にて過ごせるスペースを準備しています。	十分に広い室内空間で過ごしています。
	2	職員の配置数は適切である	0	1	5	他事業所からヘルプ要員をお願いしています。	・児童が落ち着いた環境、気持ちで過ごせるように対応する(心がける) ・求人活動に力を入れ職員数を増やしゆとりのある人員配置を行う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	1		スロープや広い出入口が整っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	0		申し送り帳やホワイトボード、口頭での周知。事業所会議での周知を図る。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	4	0		意見箱を設置し、保護者からの意見を伺い、迅速に対応を心掛ける。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	0		4月中にHPにて公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	1		第三者は設置していません。保護者よりご意見権を参考に改善を図ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0		毎週金曜日に15分の社内研修を実施しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	1		モニタリングへ参加し情報共有や連携を行い計画書を作成する。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3	0		職員間での情報共有に不足があるため、支援会議を通して活用を図る
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0		支援会議にて作成。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0		児童が飽きないように活動に変化を持たせていきます
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	3	0		リーダーが他スタッフと相談しながら決定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0		計画書に基づいたプログラムを個別活動に取り入れています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0		申し送りや活動内容を当日のリーダーが中心となり担当しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3	0	申し送りやスタッフが目につきやすい共同のホワイトボードを活用し周知しています。	当日は必要と思われる時に業務終了後申し送りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0		日報に個別の支援記録をしています。その際できたこと、できなかったことを記載することで振り返りが可能な状態にあります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	2	0		定期的にモニタリングを行いサービス計画について話し合っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	4	0		ニーズに応じた活動を組み合わせ、PDCAサイクルを実践しています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	0		児童を担当している管理者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0		申し送りにて情報共有し保護者へ確認対応を行っています。(メール・電話)
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	5	0		現在、医療的ケアが必要な児童は利用していないが、必要に応じて検討する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	1		保護者、計画相談員の要望により情報提供しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4	0		必要に応じて、相談員等に支援記録やアセスメント等の情報提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	1		研修に参加しております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	3		コロナ禍が落ち着いたときに再開したいと考えております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	4	2		会議の情報収集を行い参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0		児童送迎時に申し送りし、必要に応じて連絡帳でも案内しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	1		ペアレント・トレーニングという形ではありませんが、必要に応じて個人的に行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	3	0		初回利用にあたって管理者で行っています。また、ガイドラインを準備し説明できるようにします。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	4	0		適切な支援の方向性を知るため、家庭では見せない児童の様子を随時報告し、定期的に面談や助言を行います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3	3		コロナ禍の状況をみながら開催に向けて検討していきたいと思えます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	1		連絡帳や、送迎時での保護者との会話の中でこまめに報告しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	3	1		連絡帳やメールを用いて学校の行事等を保護者から聞き取り、職員に周知し、保護者に対しても連絡帳やホームページにて発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0		個人ファイルに関する書類は、鍵付きキャビネットに保管されてあります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	0		絵カードや写真等工夫し児童、保護者とのコミュニケーションを取っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	0	4	2		コロナ禍にあるが機会があれば地域住民の招待を行いたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2	0		マニュアルはすべて完成済みだが、保護者や職員への周知を図る。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0		2か月に1回避難訓練を活動プログラムに取り入れています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	3	0		木曜日の職員研修にて実施し、全職員が受講しています。

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	1		現時点において、同意書はすでに作成しているが、該当児童はなし。しかし、やむおえず、該当児童が発生した場合、保護者に3つの条件を説明し理解を図る。(切迫性・非代替性・一時性)
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	0	アレルギーのある児童の確認表を台所に貼りだしています。	保護者からの聞き取り、指示の上で対応しております。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	0		スタッフへの周知、上司への報告を行っております。